

## ご あ い さ つ

別府大学学長 豊田 寛三

本日は、年末のあわただしいなか、本学の夢米棚田チームの活動発表会に、大分県農林水産部渡辺哲也審議監はじめ多くの方々、渡邊淳二農業文化公園長と皆様方、さらに日頃、ご支援・ご指導賜っている多くの方々にご参加いただき、誠にありがとうございます。

毎年のことですが、夢米棚田チームには、大変いそがしくさまざまな活動を行っていただきました。これまで行ってきた米作りや七島藺の栽培・収穫・加工にも取り組みました。また、大分県農林水産祭にも例年のように参加し、今年度も別府公園会場のセンターに出展させていただきました。成果を多くの県民・市民の方々に披露させていただきました。

学内的に申しますと、本年度から教養科目の学際科目として、「世界農業遺産体験学習」という授業を開設しました。これまでの夢米棚田チームの活動は、正規のカリキュラムに乗ったものではありませんでした。

「世界農業遺産体験学習」は、単位化されたものです。その開講の責任者には利光正文先生にお願いしました。世界農業遺産とは？国東半島宇佐地域の歴史と文化、地形と農業水利、国東半島宇佐地域の農産物など学内外の専門の先生方による教室での学習と栽培・加工・販売など体験学習、現地の見学を踏まえて県職員の皆様の前での発表会もありました。座学とアクティブラーニングを組み合わせた通年制の授業です。国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会の林浩昭会長さんにも、何度もお出ましいただきました。今年度は新規開講のため、いろいろな都合で、単位になるのは1年生だけでした。来年度以降は、2・3・4年生にも単位化する予定ですので、多くの学生諸君の受講をお願いします。来年度は、中身はいつそう充実したものになると思います。

今年度から県内の大学・短大で連携して、地域で活躍する人材育成のための事業が始まりました。他大学からは、この授業を受講させてほしい、との申し出があります。しかし、前期の間に、木曜日5限の教室での学習と、土日を利用しての国東半島宇佐地域での現地実習等があるという大変ハードな授業に他大学の学生諸君が参加するのか？という疑問

もあります。これほど2単位を取るのに時間と労力のかかる授業はあまりない、と思います。しかし、受講した学生諸君にとっては、ある意味では一生に残る貴重な体験ではないか、と思っています。

また、昨年度から、夢米棚田チームのリーダー経験の4年生には、全国棚田サミットに参加してもらっています。佐賀県唐津市で開かれた今年度のサミットの報告も後ほどあるようです。

本日の学生諸君の発表は、各学科の学生諸君のそれぞれの専門分野に立脚したものとなっています。こうした活動は、チームの皆さんにとって大変忙しい日々だった、と思いますが、また充実した日々ではなかったか、と思います。それだけに、一人一人が、自分の成長を実感できたのではないか、と思います。これも、本日お越しいただいている皆様方、学内では、江崎一子先生、利光正文先生、中川隆先生をはじめ、多くの諸先生方や職員の方々の支援・指導・援助があったからだと思います。先生方の献身的な御姿は、頭の下がる思いでいっぱいです。学生諸君もそのことを肝に銘じて今年度の活動を締めくくり、来年度に向けての準備をしていただきたく思います。よろしくお願ひします。

これをもってあいさつといたします。